

# 木徳神糧株式会社

2009年12月期決算説明資料

2010年3月4日(木)

# 本日の内容

---

## ■ 2009年12月期業績の報告並びに 2010年12月期の業績予想

常務取締役

いよだ なおき

管理部門副部門長

伊豫田 直記

## ■ 今後の経営方針

代表取締役社長

ひら やま

平山

まこと

惇

# 2009年12月期業績の報告並びに 2010年12月期の業績予想

常務取締役  
管理部門副部門長  
伊豫田 直記

# 目次

---

1. 連結損益計算書
2. 連結セグメント別損益
3. 連結貸借対照表
4. 連結有利子負債残高の推移
5. 連結キャッシュフロー
6. 個別(単体)の概況
7. 2010年12月期の業績予想

# 1. 連結損益計算書

単位:百万円

項目	09年12月期実績	08年12月期実績	増減	(参考)期初予想
売上高	104,429	100,626	+3,803 (3.8%)	113,000
営業利益	1,042	1,307	△265 (79.7%)	1,160
経常利益	941	1,187	△246 (79.3%)	930
当期純利益	578	880	△302 (65.7%)	530

## 前年同期比の主要増減要因

売上高: ミニマム・アクセス米・三国間貿易の取扱数量の増加

営業利益: 競争激化で米穀事業の利益率低下  
過剰在庫評価損の計上

経常利益: 支払利息の減少

当期純利益: 法人税等の増加

注: 数値は百万円以下切捨て。

## 2. 連結セグメント別損益

単位: 百万円

項目	09年12月期実績		08年12月期実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
連結合計	104,429	1,042	100,626	1,307	+3,803	△265
米穀事業	85,244	1,312	79,702	1,824	+5,542	△512
食品事業	8,670	184	9,803	90	△1,133	+94
鶏卵事業	6,434	157	6,684	126	△250	+31
飼料事業	4,080	250	4,435	220	△355	+30
消去又は全社	-	△861	-	△953	-	+92
(ご参考) 海外関連売上高	7,086	-	2,924	-	+4,162	-

注: 数値は百万円以下切捨て。

### 3. 連結貸借対照表

単位:百万円

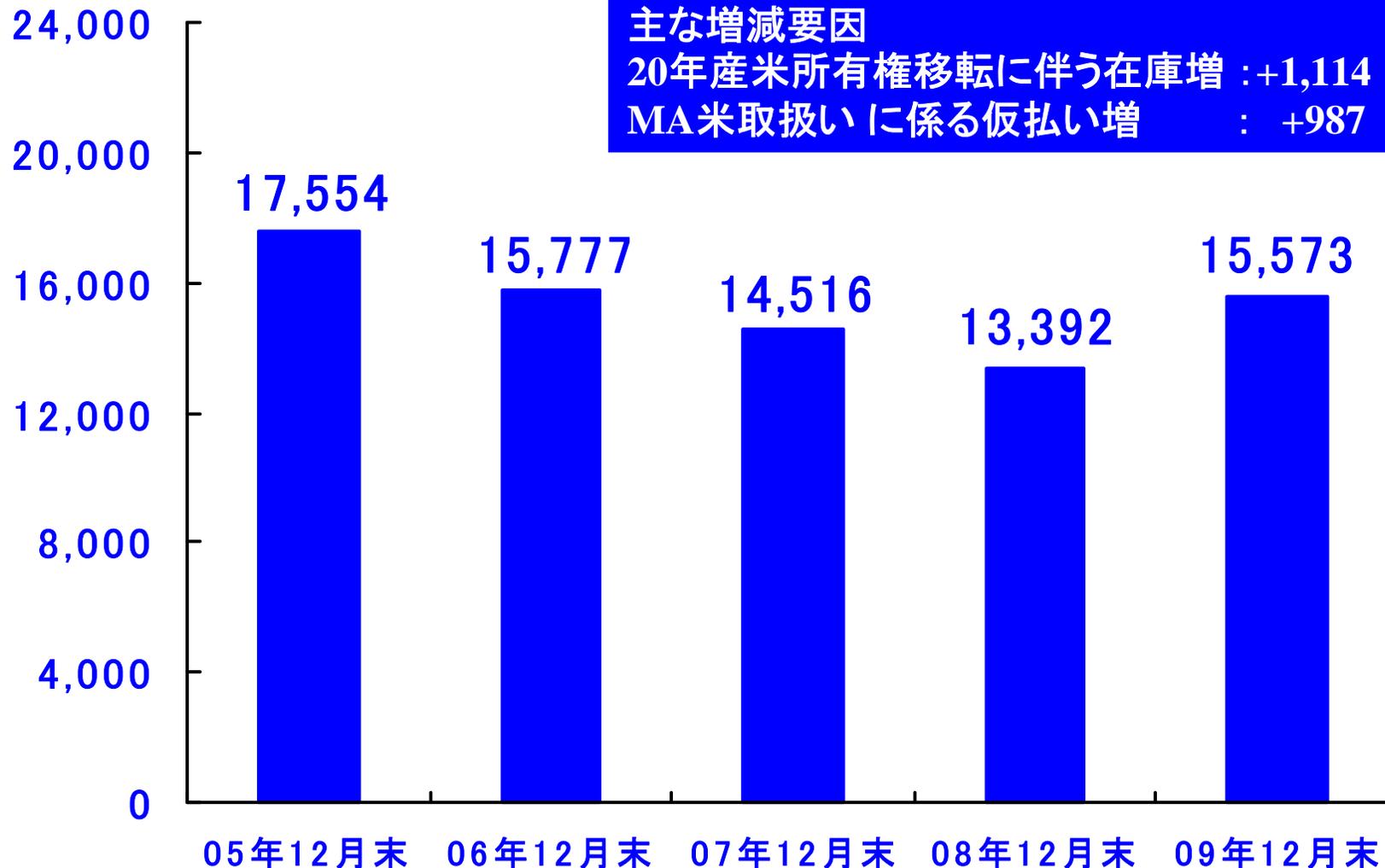
項目	09年12月期 実績	08年12月期 実績	07年12月期 実績	09年と08年 の増減	注記
流動資産	20,577	18,408	15,890	+2,169	たな卸資産 +1,114 前渡金(*) +2,130
固定資産	8,525	8,905	9,727	△380	投資有価証券 △139 減価償却費 △137
資産合計	29,102	27,313	25,618	+1,789	
流動負債	21,120	19,123	16,710	+1,997	買掛金 △1,823 短期借入金等 +2,815 前受金(*) +1,143
固定負債	2,730	3,463	4,804	△733	長期借入金 △260 社債 △374
負債合計	23,850	22,587	21,515	+1,263	
純資産合計	5,252	4,726	4,102	524	
負債純資産合計	29,102	27,313	25,618	+1,789	

(\*)前渡金、前受金の主な増加要因は、ミニマム・アクセス米に係る取引によるものです。

注:数値は百万円以下切捨て。

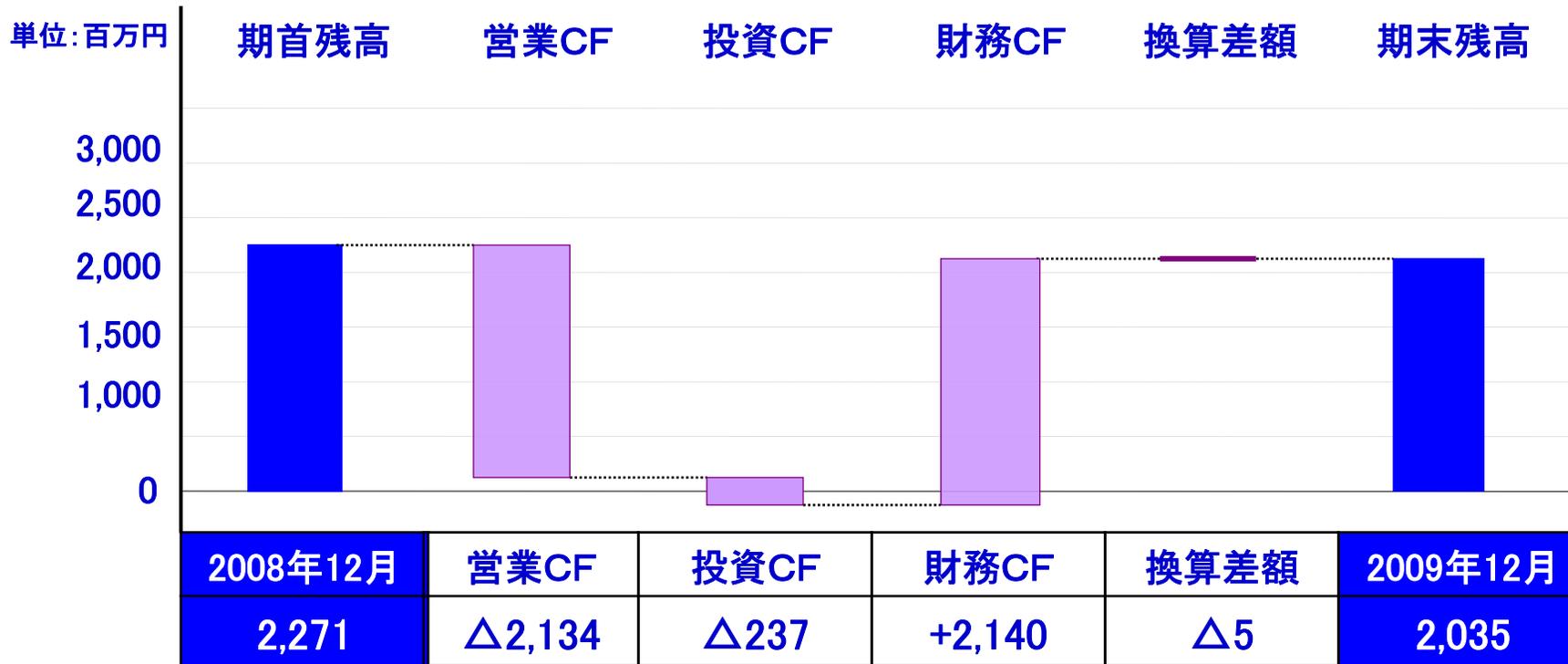
## 4. 連結有利子負債残高の推移

単位：百万円



注：数値は百万円以下切捨て。

# 5. 連結キャッシュフロー



**営業CF:** 前渡金増加(\*1) △2,130 前受金増加(\*2) 1,143  
 たな卸資産増加 △1,134  
**投資CF:** 設備投資額増加 △251  
**財務CF:** 短期借入金増加 2,891 長期借入金減少 △392  
 社債減少 △302

(\*1)その他の流動資産 (\*2)その他の流動負債  
 注: 数値は百万円以下切捨て。

## 6. 個別(単体)の概況

単位:百万円

損益計算書抜粋	09年12月期実績	08年12月期実績	増減	(参考)期初予想
売上高	86,713	82,252	+4,461	92,900
営業利益	812	1,109	△297	920
経常利益	732	911	△179	760
当期純利益	416	780	△364	450

貸借対照表抜粋	09年12月期実績	08年12月期実績	増減
流動資産	16,229	14,003	+2,226
固定資産	6,869	7,250	△381
資産合計	23,098	21,254	+1,844
流動負債	16,781	14,931	+1,850
固定負債	2,137	2,525	△388
負債合計	18,918	17,456	+1,462
純資産合計	4,179	3,797	+382
負債純資産合計	23,098	21,254	+1,844

注:数値は百万円以下切捨て。

## 7. 2010年12月期の業績予想

単位:百万円

項目		10年12月期 予想	09年12月期 実績	08年12月期 実績	10年と09年 の増減
売上高	連結	107,320	104,429	100,626	+2,891
	単体	88,900	86,713	82,252	+2,187
営業利益	連結	1,040	1,042	1,307	△2
	単体	800	812	1,109	△12
経常利益	連結	800	941	1,187	△141
	単体	640	732	911	△92
当期純利益	連結	450	578	880	△128
	単体	370	416	780	△46

注: 数値は百万円以下切捨て。

# 今後の経営方針

代表取締役社長

平山 惇

# 目次

---

1. 基本的な考え方
2. 当社を取り巻く経営環境
3. 経営計画の進捗と今後の経営戦略

# 1. 基本的な考え方

---

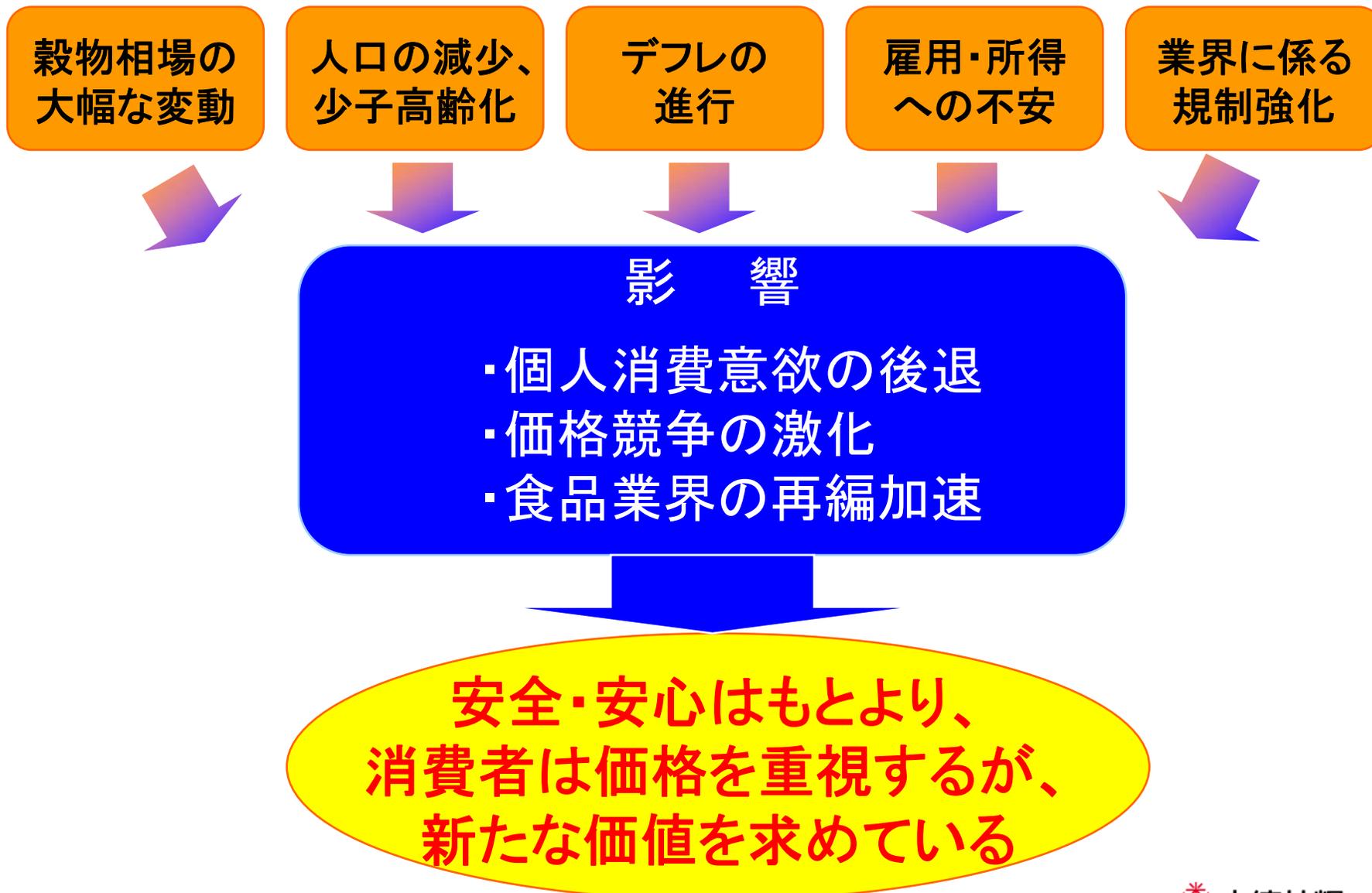
---

キーワード

- ・ チェンジ
- ・ 存在意義

コメビジネスを通して国内のみならず、海外を含め、世界中の消費者に日本米、日本食の素晴らしさを発信し、健康で楽しいライフスタイルの実現をサポートしてまいります。

## 2-1. 当社を取り巻く経営環境（食品業界全体）



## 2-2. 主力の米穀事業を取り巻く経営環境

食品・日用品の  
値下げの拡大

小売・外食における  
競争の激化

雇用不安、  
個人所得の減少

外食の減少、中食・内食へのシフト  
消費者の節約志向が顕著に

小麦の値下げによる粉食回帰(パン、麺等)  
コメ消費の鈍化が鮮明に

コメ卸会社の淘汰が  
加速し、企業の競争力、  
環境変化への適応力が  
問われる

生産及び供給過剰が続く環境

流通規制強化  
米穀トレサ法施行

20年産在庫過剰  
21年産販売停滞

戸別所得補償制度  
モデルの実施

### 3. 経営計画の進捗と今後の経営戦略（総論）

---

すべてのお客様・お取引先に  
喜ばれる「新たな価値創造」

1. 広域米穀卸としての確固たる地位の確保
2. グローバルなコメビジネスの展開
3. 新しい用途、付加価値商品開発の強化
4. 特徴ある飼料事業の強化

## 3-1. 経営計画の進捗と今後の経営戦略

---

### 広域米穀卸としての確固たる地位の確保(1)

- ◆ 既存取引先におけるシェア拡大
  - ・ 取引先の問題解決に寄与する提案型営業の推進
  - ・ 主要取引先におけるシェアの拡大
- ◆ 新規取引先の獲得
  - ・ 東北地区、西日本地区(中部を含む)における営業力の強化

## 3-1. 経営計画の進捗と今後の経営戦略

### 広域米穀卸としての確固たる地位の確保(2)

#### ◆生産体制の再構築

- ・2期連続精米製造コストダウンの実現(前期比△3%)
- ・新たな生産拠点の構築

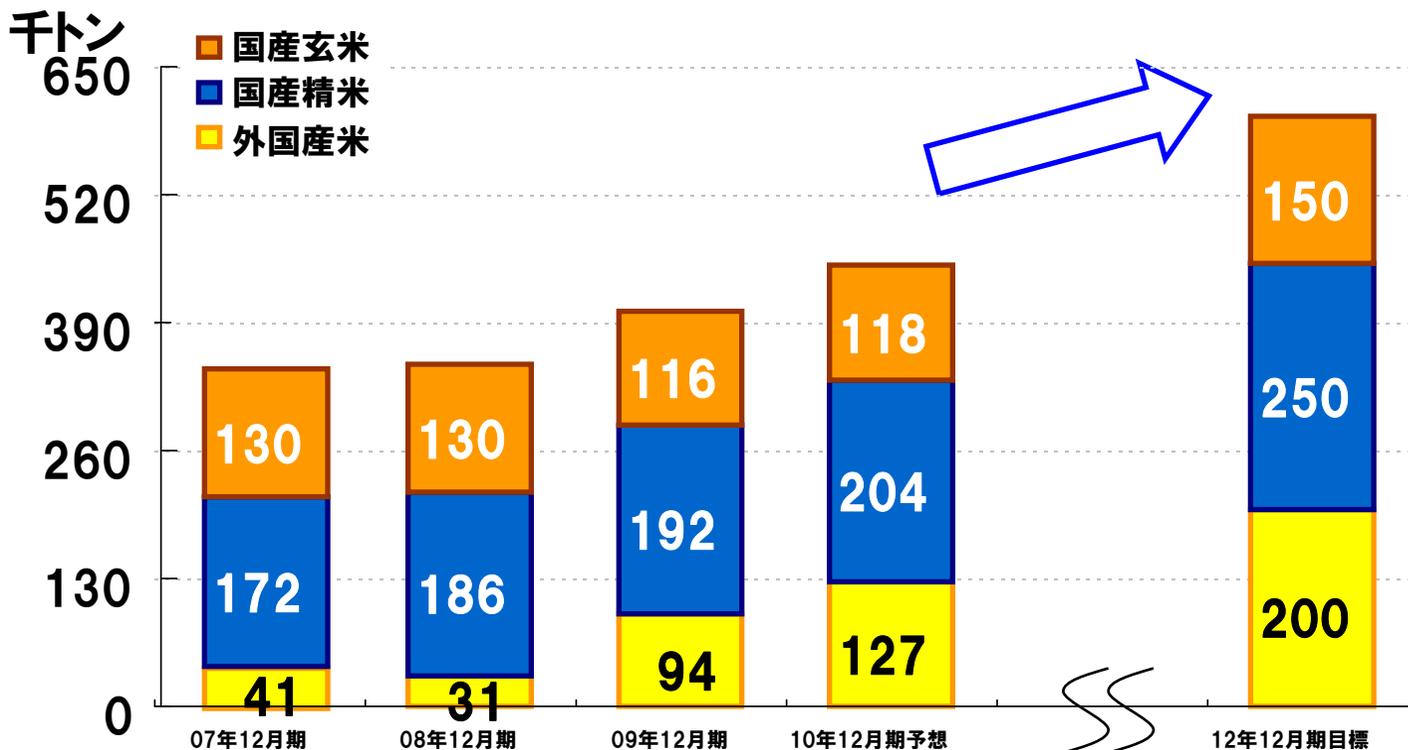
#### ◆グループ品質管理・生産管理レベルの向上

- ・全生産拠点のISO認証の取得へ
- ・効率化と品質向上に繋がる設備更新の推進

## 3-1. 経営計画の進捗と今後の経営戦略

### 広域米穀卸としての確固たる地位の確保(3)

#### ◆ 業界トップクラスの規模



注: 上記数字の合計は単純合算です。

## 3-2. 経営計画の進捗と今後の経営戦略

### グローバルなコメビジネスの展開(1)

#### ◆当社グループだから出来る三国間貿易の拡大

- ・20年来のベトナムやタイ等のコメ生産国で培ったノウハウを活かし、生産される各種ジャポニカ米を東南アジアをはじめ、ヨーロッパ等の地域に販売



ジャポニカ米製品倉庫(ベトナム)

- ・日本食ブームが続いているなか、旺盛な需要に対し、主要生産拠点のベトナムにおける年間栽培の実現(乾期作、雨期作、三期作)



工場のISO認証とBRC認証

注: BRC認証とは英国小売業協会が定める国際基準

## 3-2. 経営計画の進捗と今後の経営戦略

### グローバルなコメビジネスの展開(2)

#### ◆新しい市場の展望

- ・国内産米の海外輸出

2009年12月期ではマレーシアの日系のデパート、シンガポールと香港の卸会社向けに試験輸出を実施

- ・中国市場における展開の模索

日系のスーパーや外食企業の進出が加速、中国の消費者がより高い品質と食味を求め、長粒種だけではなく短粒種を食べる需要が生まれ、麺類・饅頭を主食とする地域でもコメ食が拡大している

## 3-2. 経営計画の進捗と今後の経営戦略

### グローバルなコメビジネスの展開(3)

#### ◆安定的なMA米の取扱い

- ・一定規模のMA米(SBS米を含む)取扱いの維持
- ・各国のシッパーとの関係強化



#### 用語解説:

#### MA(ミニマム・アクセス)米とは、

日本政府が高関税を課して輸入を制限する代わりに、最低限輸入する量の外国産米を指します。年間数量約767千トンとなっています。

#### SBS米とは、

MA(ミニマム・アクセス)米のうち、輸入業者と卸業者が連名で売買同時入札を行う方式の外国産米を指します。年間数量10万トンの割当て。

### 3-3. 経営計画の進捗と今後の経営戦略

## 新しい用途の開拓、 付加価値商品開発の強化(1)

#### ◆食料自給率向上に寄与する米粉需要の創造

- ・当社グループだから出来る試作メニューからの提案  
大手製粉メーカー、製パンメーカーへの納入を実現
- ・平成22年新規需要米契約栽培を1千トンに拡大



気流粉碎米粉



気流粉碎ライン設備



新潟製粉工場

### 3-3. 経営計画の進捗と今後の経営戦略

## 新しい用途の開拓、 付加価値商品開発の強化(2)

### ◆低たんぱく米シリーズ商品の更なる充実

- ・生活習慣病予備群の増加に伴うマーケットの拡大
- ・コメ卸だから出来る商品(2009年12月期発売済)

「混ぜごはんの素」のリニューアル

食塩無添加のピザクラスト

食物繊維入り「ファイバー越後ごはん」

GABA入り「プレミアム越後ごはん」



## 3-3. 経営計画の進捗と今後の経営戦略

### 新しい用途の開拓、 付加価値商品開発の強化(3)

#### ◆「おこめにすすもう」シリーズ商品続々

- ・2009年3月 カロリー15%オフの1合パック5入りを発売
- ・2010年3月 雑穀8種入り、もみ発芽精米入りを発売予定



主食のごはんで  
おいしくカラダサポート



食物繊維が豊富  
国産もみ発芽精米入り



大地の恵み  
国産雑穀8種類入り

## 3-3. 経営計画の進捗と今後の経営戦略

### 新しい用途の開拓、 付加価値商品開発の強化(4)

#### ◆コメの新たな価値創造

新設した事業戦略開発室を中心にコメの消費増に繋がる商品づくり、次世代のトレンド・ニーズを見据えた新たな事業分野の開拓

- ・4月、好評発売中のこめ油「こめしぼり」をリニューアル
- ・国産農産物に拘ったドレッシングづくり(こめ油+こめ酢等)
- ・日本人好みのライスミルクの開発
- ・食品素材用向けにコメ糠の研究開発

## 3-4. 経営計画の進捗と今後の経営戦略

### 特徴ある飼料事業の強化

#### ◆米糠の価値創造の追求

- ・当社グループだから出来るビジネスモデル  
(精米/米糠→こめ油→脱脂糠→飼料・食品原料)

#### ◆輸入商材開発の強化

- ・海外グループ会社との連携強化を図り、  
強みのある輸入商材の開発

#### ◆事業インフラの充実

- ・今期中に横浜駅付近へ事業所を移転予定



### 3-5. 経営計画の進捗と今後の経営戦略(纏め)

---

掲げている経営課題の実現

持続的な成長へ

# 食品事業(鶏肉販売分野)のご紹介

## ◆当社グループだから出来る飼育から販売までの一体型の国産鶏の飼育・加工・販売



ひな



飼育風景1



飼育風景2



飼育風景3



成鳥



日経MJにも紹介されたブランドのつくば茜鶏



伊勢丹デパ地下  
当社の直営店チェーン



クイーンズ伊勢丹各店舗で  
好評販売している



店頭風景1



店頭風景2



トレース番号導入



焼き鳥商品

# 食品事業(惣菜加工分野)のご紹介

## ◆当社グループだから出来るバラエティに富んだ 手作りの惣菜の数々



人気の高い和惣菜シリーズ



コンビニで好評販売中のスープシリーズ



楽しく食べる洋食シリーズ



美味しいサラダシリーズ

# 鶏卵事業のご紹介

◆当社グループだから出来る安全で高品質な鶏卵の販売  
(わが国で最初に産卵日日付入り卵を販売)



生産者の顔が見えるまごころたまご



大手量販店の店頭でロングセール中



(加工品)  
温泉たまご



(加工品)  
名古屋コーチンの玉子とうふ



(加工品)  
海老入り手作り茶碗蒸し



(加工品)  
味付半熟玉子

# お問い合わせ先

---

## ◆IRの責任者

常務取締役

管理部門副部門長 伊豫田 直記(いよだ なおき)

TEL 03-5636-1501

FAX 03-5636-1601

Email [n-iyoda@kitoku-shinryo.co.jp](mailto:n-iyoda@kitoku-shinryo.co.jp)

## ◆IR・広報の窓口

管理部門管理部 企画室

TEL 03-5636-1502

FAX 03-5636-1608

Email [info@kitoku-shinryo.co.jp](mailto:info@kitoku-shinryo.co.jp)

# 注意事項

---

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と異なる可能性があります。